

支店長の わがまち紹介 第75回



日立市

筑波銀行は地域金融機関として、地域の皆さまとの密接な繋がりを持たせていただいております。「支店長のわがまち紹介」は、筑波銀行の支店長が所在エリアの市町村をご紹介させていただくコーナーです。今回は茨城県日立市です。日立支店長が日立市長 小川 春樹氏にお話を伺いました。

日立市は「筑波経済月報」第27号(2015年2月)第19回本コーナーにて紹介させていただきました。改めまして、本市の魅力や特徴、展望についてお聞かせください。



日立市長 小川 春樹氏



日立支店長 益子 邦広

■ 豊かな自然に抱かれた「ものづくりのまち」

日立市は、東に太平洋、西に阿武隈山系の風光明媚な山々が広がる、自然豊かなまちです。

春の桜、夏の海、秋の紅葉、冬の夜景など、四季折々のレジャーや風景を楽しむことができるほか、穏やかで過ごしやすい気候にも恵まれています。

その一方で、明治時代後期の日立鉱山の開発を契機に、国内有数の鉱工業都市として発展してきた「ものづくりのまち」として知られています。

先人たちが連綿と育んできた「ものづくりの歴史と文化」は、今も、まちの中に脈々と息づいており、市民の誇りとするところです。

■ 世界的建築家のデザインによる新庁舎

日立市では2011年の東日本大震災で被災した市庁舎の建替えを進めてきましたが、本年3月、大屋根広場の整備が完了し、グランドオープンを迎えました。

新庁舎は、庁舎の集約による利便性の向上や総合窓口の機能充実、そしてユニバーサルデザインの導入など、市民サービスの充実と向上を図るとともに、環境にやさしく、長寿命化にも配慮した構造としました。

また、災害対策本部としての機能を強化し、市民の皆様の安全と安心を守る防災拠点として整備を行っています。

庁舎の設計はコンペを行い、建築事務所「SANAA」を選定しました。同事務所は、2010年に「建築界のノーベル賞」といわれる「プリツカー賞」を受賞した世界トップクラスの建築事務所の一つとして知られています。

その共同代表を務める妹島和世氏は本市出身で、世界で最も著名な女性建築家と評されています。



日立市新庁舎の外観

また、妹島氏は、2014年に鉄道関連で唯一の国際デザインコンペティション「ブルネル賞駅舎部門・優秀賞 (Awards)」を受賞した「JR常磐線日立駅」のデザインも監修しています。

日立駅は太平洋を一望できるガラス張りの駅舎で、世界で最も美しい駅舎の一つとして観光の名所となっています。併設されているカフェは“天空のレストラン”や“海に浮かぶカフェ”と呼ばれ、大変な人気です。

本市出身の偉大な建築家に日立市のシンボルとなる施設を2か所も手掛けていただき、大変誇りに感じています。

■ 優秀な学生が集うまち

本市には2つの大学が所在しており、多くの学生が勉学に励んでいます。

その一つである茨城キリスト教大学の生活科学部には、「ヒトの健康と安全を守る、食のプロフェッショナルになる」ことを目指す食物健康科学科が設置されています。

同学科の学生たちは、本年開催の「いきいき茨城ゆめ国体」において、監督や選手に向けた7種類のお弁当を考案しました。

完成までには、実際にお弁当を作ることになる

市内の業者さんと意見を交わしながら試行錯誤したようです。実際のメニューも、学生たちが考案したメニューに近い内容になっており、バランスも良く、とても美味しいお弁当でした。

このような産学官連携の取り組みでは、大学側からも非常に積極的な協力体制をいただいています。また、市内の業者さんも事業に関わっているため、地域内の連携強化にもつながっています。

もう一つは茨城大学の工学部です。工学部は同大学で最も学生数の多い学部であり、全国から優秀な学生が集っています。

また、学生だけでなく、先生方からもまちづくりに対する貴重なご意見をいただいています。例えば、学識経験者として様々な審議会などの長を務めていただくことで、会をスムーズに運ぶことができます。

■ まちを元気にする社会人スポーツ

スポーツに関しては、学生はもちろん、(株)日立製作所もスポーツに力を入れています。同社野球部は、創部100年を超える歴史を持ち、今ある企業野球チームの中で、日本で最も長い歴史を持つチームです。

今年は東京ドームで行われた第90回都市対抗野球大会に「日立市代表」として出場し、強豪チームを次々と撃破して、第3位という輝かしい成績を収めました。



「都市対抗野球大会」日立市代表応援団

また、名物「オレンジの大応援団」も一体となった応援を披露し、応援団コンクールで「優秀賞」を受賞しました。まちに元気と感動を与えていただき、大いに活気づいた出来事となりました。

また、石川佳純選手がゴールド選手として所属する日立化成(株)の卓球部も、本市が誇る日本のトップスポーツチームです。同部は日本卓球リーグ実業団連盟1部に所属し、近年、目覚ましい活躍を見せています。

■ 歴史を感じる貴重な財産

本市の春を彩る桜は、煙害克服の象徴という特別なストーリーを宿しています。

今年、全国公開された映画「ある町の高い煙突」では、鉱山の開発による煙害を克服した先人たちの英知とたゆまぬ努力で幾多の困難を乗り越えてきた歴史が描かれました。ぜひ映画をご覧ください、その歴史を感じながら、本市の桜をご覧くださいただけなら幸いです。

また、日立駅前の平和通りで毎年行われる「日立さくらまつり」において披露される「日立風流物」は、2009年にユネスコ無形文化遺産保護条約「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に載り、さらに2016年に「山・鉾・屋台行事」の一つとしてユネスコ無形文化遺産代表一覧表に再度記載された貴重な文化遺産です。

今年は7年に一度の神峰神社の大祭禮があったことから、4台の山車が全て揃い、訪れた人々を魅了しました。



日立風流物

また、「神仏を祀る唯一の社」として、他の神社や寺院では見ることができない独自の信仰を伝えている「御岩神社」は日本最大級のパワースポットとして非常に人気です。休日ともなると、多くの来訪客でにぎわっています。

同神社は、奈良時代に編さんされた「常陸国風土記」に「浄らかな山かびれの高峰に天つ神鎮まる」

と記載され、古代より信仰の聖地とされているほか、水戸藩の国峰として位置づけられ、代々の水戸藩主が参拝する祈願所になっていた由緒ある神社です。

■ 地方創生と人口減少対策

全国的に超少子高齢化が進む中、日立市においても、人口減少対策は喫緊の課題であります。

こうした中、日立市では、「地方創生」の取り組みとして、子育て支援の更なる充実、若者や女性の活躍支援、特色ある教育の推進などに引き続きしっかりと取り組み、若い世代に“選ばれるまち”となるよう努力したいと考えています。

同時に、県北地域全体の飛躍的な活性化には、インパクトのある起爆剤も必要だと考えています。

例えば県とともに進めている「かみね動物園へのジャイアントパンダの誘致」があります。これは大変ハードルの高いチャレンジですが、交流人口の拡大、そしてすべての世代の方々に夢や希望を与えられるものと期待しており、誘致活動を力強く進めていきたいと考えています。

■ 市制施行80周年を迎えて

本市は、1939年(昭和14年)9月1日の市制施行から、今年で80周年を迎えました。この節目の年にあたり、改めて市民一人ひとりがまちを大切に思う心を育み、これまで築上げてきた歴史や文化、地域の魅力を再発見して、未来へ継承することで、本市がより一層の発展を遂げられるよう、各種取り組みを推進していく考えです。

また、オリジナル切手を作成するとともに、「かみね動物園」、「日立シビックセンターの科学館・天球劇場」など公共施設の一部を無料開放するほか、「NHKのど自慢」の公開放送も予定しています。

■ 筑波銀行に期待すること

本市は様々な魅力にあふれ、犯罪も少なく、安心して暮らせるまちです。ぜひ筑波銀行には、本市の魅力を広く発信していただくとともに、本市の更なる発展に向け、引き続きお力添えを賜りますよう、お願いいたします。

写真提供：日立市